

湾岸親善少年野球大会 大会規定・注意事項

- 1.集合時間 : 試合開始予定30分前に集合、メンバー表を提出すること。
- 2.試合回数 : 6回(試合時間優先)日没、降雨時の試合成立は4回終了時とする。
- 3.試合時間 : 1時間30分とし、新しいイニングには入らない。
- 4.コールドゲーム : 4回10点差以上、5回7点差以上とする。
- 5.タイブレーク : 既定回数、もしくは既定時間終了時に同点の場合、タイブレークとする。
- 6.タイブレーク方式 : 無死一・二塁、継続打順、タイブレークは1回までとする。
同点の場合は9名でジャンケンとする。※準決勝、決勝は2回まで
- 7.決勝戦 : 決勝戦は試合時間1時間30分とする。コールドゲームなし。
時間以内は延長戦を行い、時間が過ぎた時はタイブレーク2回とし、同点時は9名でジャンケンとする。
- 8.投球制限 : 投手は1日あたり、70球まで投球できるものとする。制限投球数に達した際、打者の打撃完了までは投げられるものとする。
※各チーム投球カウント担当1名
- 9.その他 : 規約及び規則は2025年公認野球規則に準ずる。
- 10.ベンチ : 組み合わせ番号の若いチームが一塁側ベンチとする。
- 11.先攻・後攻 : 主将同士のジャンケンにて決める。**シートノックは行わない。**
- 12.タイム : 監督が1イニングに投手の元に行ける回数は1回(2回目は交替となる)
守備/攻撃時の作戦タイムは、1試合内で各々3回までとする。
- 13.抗議権 : 抗議権は監督と当該プレーヤーのみとする。
- 14.代理監督 : 代理監督・代理主将はメンバー表提出時に申告すること。
- 15.ベンチ入り : 監督・コーチ2名・スコアラー・代表者(代理認める)まで、5名とする。
- 16.服装 : 監督・コーチ・選手は統一のユニフォームを着用・その他指導者らしい服装とする。
- 17.練習 : 試合前の練習に参加出来る指導者は、監督とコーチのみとする。
第一試合の試合前練習は、外野地域で他チームの練習に影響を与えない範囲で可能とする。フリー・バッティング以外のバットの使用を可能とする。
第二試合以降の試合前練習は、自チーム側のファウルラインの外側で素振りとゴロの練習にのみバットを使用可能とする。
- 18.試合球 等 : 各チーム2個の公認球を用意し、試合当日に審判員に渡すこと。
ロジンバッグを使用する場合、各チームで用意すること。